

A. 主な動き

1. 内政

期限前議会選挙に向けた動き

- ・2日、ウレキャン「我々のモルドバ」(AMN)代表は、AEI各党がそれぞれ単独で期限前議会選挙に臨むことになってしまったことは残念である旨表明。
- ・4日、中央選挙管理委員会は、期限前議会選挙への参加政党の受付を開始、締め切りは28日。
- ・4日、ラドゥカン建設地方発展相(民主党所属)は、民主党は期限前議会選挙において議会過半数の議席獲得を目指しており、選挙後も他党との連立は形成しないと発言。
- ・5日、民主党は、同党所属各大臣は期限前議会選挙の選挙運動に参加するため、今後は各次官が代行として職務を行うと発表。これに対し、フィルト首相は、現職大臣は選挙名簿に掲載されるべきではなく、もし選挙運動に参加するのなら辞職するべきであると非難、自由民主党所属各大臣は選挙参加政党受付締め切り直前まで職務を行うと発表。
- ・5日、ヴォローニン前大統領は既に憲法裁判所の承認を得ている同党発案の憲法改正案を、期限前議会選挙後に議会において採択する意向を再度表明。
- ・6日、シャルル運輸道路インフラ大臣(民主党所属)は、民主党所属各大臣が大臣としての職務を行えるよう、同党は各大臣を選挙名簿から一旦除外し選挙直前に再度掲載すると発言。

その他

- ・4日、ガガウズ自治共和国議会は、12月12日に同自治共和国首長選挙を実施することを正式に決定。
- ・6日、ギンプ大統領代行は、フィルト首相による予算案の修正は、正規の手続きに則っていないため憲法違反であると発言。これに対し、フィルト首相は、同手続きは法的に妥当であったと反論。7日、同首相は、同手続きが法的に妥当であったか否か判断を求める書類を憲法裁判所に提出。

2. 経済

マクロ経済

- ・8日、国家統計局は、9月の消費者物価指数は8月比0.8%上昇、また1-9月期のインフレ率は4.5%と発表。
- ・8日、国家統計局は、1-8月期の輸入額は前年同期比14.8%増の22億9,100万ドル、輸出額は9.2%増の8億6,220万ドルと発表。最大の貿易相手国は露で、輸入額全体の14.7%、輸出額全体の24.2%。貿易赤字額は18.4%増の14億3,000万ドル。

モルドバ支援

- ・2日、EIB(欧州投資銀行)は、モルドバのワイン産業分野

での投資プロジェクトに対して、7,500万ユーロの融資を行うと発表。

- ・5日、コサルチウク農業食品産業相は、EDB(欧州開発銀行)がモルドバのワイン産業再生計画実施のため7,500万ユーロを提供する予定であり、このための署名式が11月18日に行われると発言。

- ・6日、オーストリア開発庁(ADA)とEUは、ニスポレニ水供給計画協定に署名。同計画は、EUが500万ユーロ、ADAが380万ユーロを、スイス開発庁が80万ユーロを融資し、ヴァルザレスチおよびグロゼスチ地区に高品質の水を供給するというもの。

3. 外政

- ・4日、バサト・ヒューマニスト党党首は、モルドバが今後35年はEUへ加盟出来る見通しが無いため、EUへ加盟申請すると同時に露、カザフスタン及びベラルーシの関税同盟にも加盟申請を行うべきと発言。

- ・8日、欧州統合にかかる政府委員会は、2011年6月までの欧州統合分野における改革優先事項行動計画を採択。レアンカ外務欧州統合相は、文書保護、個人情報保護、国境管理、外政、法執行分野及び犯罪捜査分野における協力の重要性につき言及。

- ・8日、在ヤシ・モルドバ総領事館が開館、開館式にはレアンカ外務欧州統合相及びバコンスキ・ルーマニア外相が出席。

- ・8日、欧州評議会議員会議のモルドバ国民投票監視委員会は、9月5日の国民投票が成立しなかった最大の理由として、複数の政治家が国民に投票の呼びかけを行うかわりに、その後に予定される大統領選挙のためのキャンペーンを行った点を指摘。

4. 沿ドニエストル

- ・2日、オシポフ沿ドニエストル問題副首相は、同ポスト就任後一年間の成果として、「5+2」の形式による協議活性化を挙げ、その結果もたらされたとされるキシナウ・オデッサ間の鉄道運行再開、及び今後のドニエストル川兩岸を結ぶ固定電話回線の再開の見込みを高く評価。

- ・5日、ミジェイ駐モルドバEU特別代表は、「5+2」者公式協議の再開が沿ドニエストルの利益に適うと述べ、OSCEサミット開始前の「5+2」者公式協議再開を呼びかけ。

- ・5日、ギンプ大統領代行は、12月1～2日にアスタナで開催されるOSCEサミットで沿ドニエストル地域に関する決議が採択されるよう望むと発言。

- ・5日、オレイクIT通信相は、2～3週間のうちにドニエスト

ル川兩岸を結ぶ固定電話回線が再開される予定であると発言。

・6日、ヤストレプチャク沿ドニエストル「外相」は、カラーシ
ン露外務次官と会談、ウィーンで開催された「5 + 2」者非公式
協議の結果及び「5 + 2」者公式協議再開の見通し等につき
協議

・7日、沿ドニエストル露軍作戦集団(OGRV)新司令官ニル
コフ大佐が、スミルノフ沿ドニエストル「大統領」を表敬

・8日、ポポフ外務次官は、カラーシ
ン露外務次官と会談、
モルドバ・沿ドニエストルが信頼醸成措置及び相互受け入
れ可能な妥協達成に向け努力を継続する必要性を確認、ま
たモルドバ・露関係の幅広い問題につき協議

・8日、ヤヌコーヴィチ・ウクライナ大統領は、仏国際問題研
究所で演説、ウクライナはモルドバの領土一体性を支持し、
沿ドニエストル地域がモルドバにおける特別なステータス
を得られるようあらゆる努力を行う意向と発言。

B . その他の動き

10 / 8 (金)

40人になる見込みと発表

・国防省は、今秋の徴兵数は、昨年よりほぼ500人少ない2,3

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシノウ」(モルドバ語読み)と標記しています。

(了)